

1 全国学力・学習状況調査実施状況

(1) 調査内容

① 調査科目

小学校（対象学年：6年生） 国語、算数

中学校（対象学年：3年生） 国語、数学

② 学習状況調査

学校質問紙調査

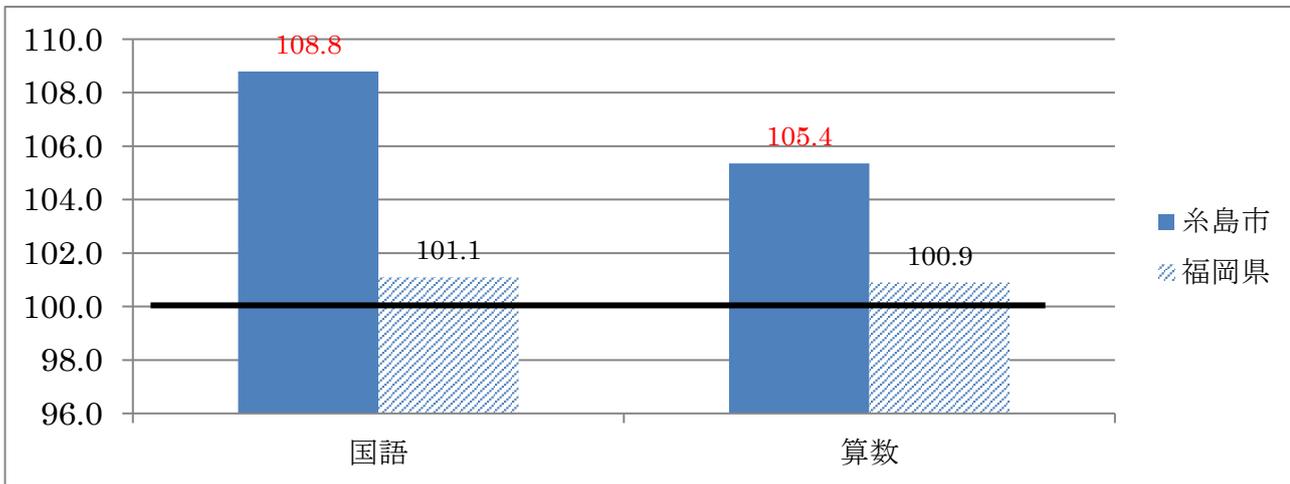
(2) 参加状況（代表値：国語）

小学校 全国： 993,975 人 福岡県： 43,473 人 糸島市： 930 人

中学校 全国： 903,253 人 福岡県： 39,096 人 糸島市： 839 人

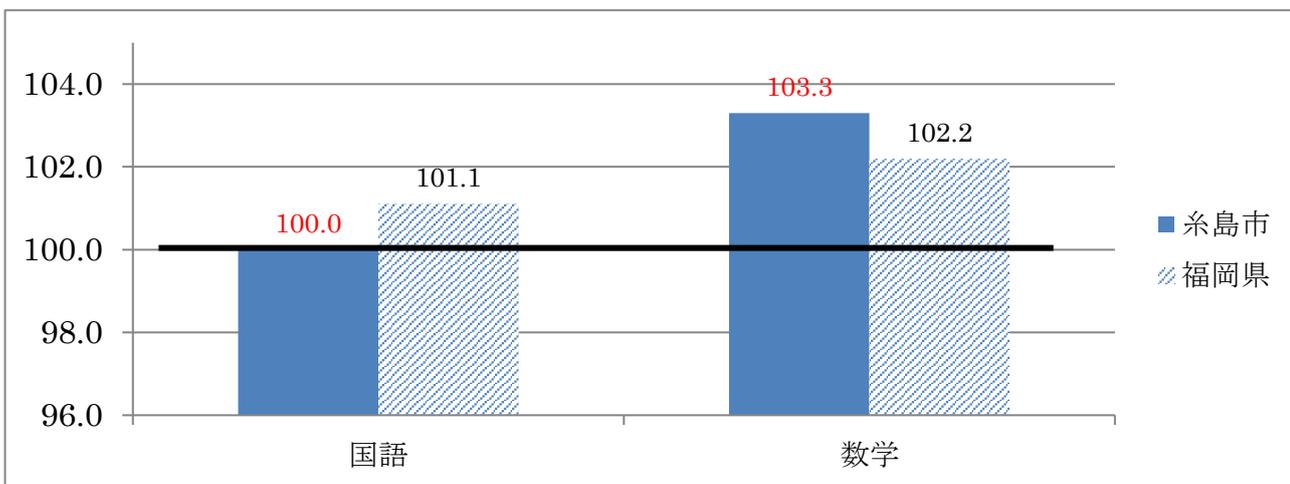
2 全国平均を100とした標準化得点

(1) 小学校 第6学年



□ 国語・算数ともに全国平均・福岡県平均を上回った。

(2) 中学校 第3学年



□ 国語が福岡県平均を下回ったが、数学は全国平均・福岡県平均を上回った。

3 児童生徒質問紙から

(1) 自尊感情・自己有用感について

- 「人の役に立つ人間になりたい」と回答した児童生徒の割合は、小中学校共に全国平均より高い。
- 「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒の割合は、小学校については全国平均より高く、中学校については全国平均より低い。
- 「将来の夢をもっている」と回答した児童生徒の割合は、小中学校共に全国平均より高い。
- 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した児童生徒の割合は、小学校については全国平均より高く、中学校については全国平均より低い。

(2) 授業一般について

- 「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりしている」と回答した児童生徒の割合は、小中学校共に全国平均より高い。
- 「授業内容はよく分かる」と回答した児童生徒の割合は、小学校については、全国平均より高く、中学校については全国平均より若干低い。
- 「コンピュータなどのICT機器を、他の友だちと意見を交換したり、調べたりするために、活用している」と回答した児童生徒の割合は、小中学校共に全国平均より高い。

(3) 家庭学習について

- 「家で自分で計画立てて勉強をする」と回答した児童生徒の割合は、小中学校共に全国平均より低い。

(4) 本調査について

- 問題に対する「無回答率」が小中学校共に全国平均より低く、問題に挑もうとする姿が見られた。

4 結果から見えた糸島市の課題

- 文章に表れているものの見方や考え方を読み取り、自分の考えをまとめること。
- 目的に応じて文章と図表とを結びつけて必要な情報を取り出すこと。
- 図形領域において、知識や技能を發揮して、比べたり説明したりすること。
- 中学国語において、文脈の中の語句の意味を理解したり場面の展開、登場人物の心情や行動をもとに内容を理解したりするなどの読む力を高めること。

5 全国学力学習状況調査分析をもとにした後期に向けた対策・取組

「糸島市学力向上プラン」に基づいて、特に以下の観点より後期からの対策を考える。

(1) 学習指導の日常的な改善

- ICT等を活用した個別最適な学びの充実
- 児童生徒による授業評価の実施と、評価結果を踏まえた授業改善
- 説明的な文章を読んで理解したことや考えたことを表現する言語活動（「読む」活動の段階的指導）の充実

(2) 調査問題を活用した学力向上研修会の実施

- 領域や観点、問題形式などの自校の課題を把握
- 解説資料を活用し、過去の学力調査問題をもとに定期考査や授業改善案の検討